

日本計量新報

計測と科学
毎週日曜発行
日本計量新報社
東京都江東区亀戸7丁目62-16
〒136-0071 TEL 03-5628-7070
FAX 03-5628-7071
http://www.keiryu-keisoku.co.jp/
振替口座 00140-5-12935
購読料年間 25,000円(消費税別)

定量計量専用機
Pack NAVI
速くハカル、
楽にツメル



Yamato
大和製衡株式会社 tel:078-918-6577
http://www.yamato-scale.co.jp/

INTERMEASURE2021(第29回計量計測展)

2021年2月17日(水)~19日(金)、東京ビッグサイト青海展示棟で 出展申込受付を開始、2020年10月23日(金)まで

日本計量機器工業連合会(計工連)は2020年6月24日、主催する「INTERMEASURE2021(第29回計量計測展)」の出展申込受付を開始した。申込締切日は2020年10月23日(金)。

【募集要項】<https://intermeasure.org/jp/ms2021/exhibition/>を無料提供

今回は、「HAKARU」で新しいテーマをひらいて「IoT」をテーマに、IoTやAI、ビッグデータを活用した製品・技術ソリューションをより広く紹介する。

「INTERMEASURE2021(第29回計量計測展)」は、計量計測業界最大規模の総合展示会

「出展製品・技術説明」は、計量計測業界最大規模の総合展示会であり、2021年2月17日(水)~19日(金)の3日間、東京ビッグサイト青海展示棟において開催される。



開催概要
【展示会名称】INTERMEASURE2021(第29回計量計測展)
【会期】2021年2月17日(水)~19日(金)
【会場】東京ビッグサイト青海展示棟

「魅力あるイベント」また、期間中、計量法関連省令の改正に対応した企画展示やセミナーによる情報発信を積極的におこなうほか、基調講演、計量計測に関する専門セミナー、アカデミープラザ、シンポジウム、さらには同時開催との合同による「専門技術ゾーン」を設置するなど魅力あるイベントを実施する。

「出展製品・技術説明」

産業技術総合研究所「標準化推進センター」を設置

業界・領域横断的な分野の標準化を主導

産業技術総合研究所 国内産業の国際競争力を強化するためには、国際的なルール作り、すなわち標準化を、日本が主導していくことが重要である。標準化推進センター

ターは、産総研の研究ポータルとする。また、これら標準化活動を一貫して推進する専門人材として「標準化オフィサー」を新設した。今後、情報・人間工学領域のデジタルアーキテクチャ推進センター情報標準化推進室とも連携し、産総研を中核とした標準化活動に取り組む。

3295・3296号を合併号とし、7月12日付で発行します。

▽基調講演・セミナー…産業界で活躍される著名人による基調講演会、法令・規格、新技術、新材料等々に係るセミナー・講演会・シンポジウムを開催する。

▽NMI法定計量セミナー…計測標準フォーラム・産業技術総合研究所との共催により、計量標準総合センターがおこなう法定計量分野における試験・検査(型式承認、基準器、検定)に係る動向や国際相互承認制度の最新動向、各種計量標準の研究開発、校正サービス等について紹介する。

▽企画展示コーナー…計量法関連省令の改正に伴い、特定計量器に指定された自動はかりに関する特別展示を企画し、食品・化学・医薬品・農産品等のユーザー層に最新かつ有益な情報を発信する。

▽アカデミープラザ(大学・研究機関コーナー)…大学・試験研究機関が所有する計量計測センター等に係わる先端技術、基礎技術、情報等を紹介する。

今週の主な記事

- 1 INTERMEASURE2021出展募集開始、産総研「標準化推進センター」設置
- 2 天びん・はかり給付集(1)
- 3 田中康・田中衛機工業所社長に聞く
- 4 新型コロナウイルス(3) NITE…次亜塩素酸水条件付有効、A&D…販売再開
- 5 計量計測関連企業2020年3月決算(3)
- 6 社説、グローバルニッチトップ企業100選
- 7 オール・流量計、チノ…温度計、図書紹介
- 8 ⑩面
- 9 ⑪面
- 10 ⑫面

TANITA デジタルスケール (TL-280)
見やすいバックライト付 大型表示
¥33,000(税抜)





Excellence in Science

上皿天びん
UniBloc Performance Balances
UP シリーズ

計量作業の生産性改善 反応時間が約1/9に短縮

UPシリーズ24モデル:最小読取り0.1g~0.001g

- 1 はかりとり作業性向上
微量計量(最小表示値の10倍相当)の表示反応時間を約1秒に短縮
- 2 優れた耐久性
耐久性に優れたUni Blocセンサの採用により故障によるダウンタイムを低減
耐久試験100万回クリア(計量法試験基準の10倍)
- 3 作業性を高める除電器
イオナイザSTABLO-AP(オプション)で静電気による影響を排除し
手間なく信頼性の高い計量を実現



株式会社 島津製作所 分析計測事業部

UPシリーズの特徴を、わかりやすくムービーで解説
https://www.an.shimadzu.co.jp/balance/products/p01/up_video.htm

